

紀 要 論 文

- (1) 半田哲郎：リポソーム（脂質 2 分子膜）とミセルのミクロ環境と機能
〔岐阜薬科大学紀要, **33**, 1 (1984)〕
- (2) 葛谷昌之, 野口章公, 大野弘深, 奥田高千代：2-Pyridone の互変異性の分子軌道法による研究の変遷
〔岐阜薬科大学紀要, **33**, 16 (1984)〕
- (3) 高木平蔵, 高田英明, 成田 敦, 小森輝夫, 宮部良子, 森下正之, 小瀬洋喜, 池田 坦：学校環境衛生の基礎的研究（第 9 報）教室の換気と欠席率について〔大垣女子短期大学紀要, **20**, 89 (1984)〕
- (4) 小瀬洋喜, 池田 坦, 大山昭男, 田中信男, 周戸善夫, 武藤銀五郎, 増田金造, 小鎗徳太郎, 和田英時, 森下正三, 杉下鉄郎, 伊藤正三：井戸水による地下水調査, 岐阜県郡上郡八幡町（昭和35年度）〔大垣女子短期大学紀要, **20**, 82 (1984)〕
- (5) 富田伴一, 山田益生, 青山 幹, 山田直樹, 茶谷邦男, 大沼章子, 浜村憲克, 荘加泰司, 下岸協, 小瀬洋喜：愛知県下のし尿処理施設の精密機能検査結果〔愛知県衛生研究所報, **34**, 35 (1984)〕
- (6) 入来義彦, 小池和彦, 山崎陽一, 田中俊弘：ヒナタイノゴヅチの糖類——D-フルクトース含有小糖類を中心として——〔信州大学志賀自然教育研究施設研究業績, **21**, 1 (1983)〕
- (7) 日野紹運：ヒンドウの宗教世界——不二一元論派学匠マドゥスーダナ・サラスヴァティーのバクティ観をめぐって——
〔Sambhāsa, **6**, 22 (1984)〕

総 説

- (1) 永瀬久光, 小瀬洋喜, 佐藤孝彦：環境中メチル水銀の分布と生成
〔衛生化学, **30**, 161 (1984)〕
- (2) 小瀬洋喜：水中の微量有機物
〔南京薬学院学報（中国）, **15** (1), 71 (1984)〕
- (3) 小瀬洋喜：プールの水温
〔健康教室, **404**, 82 (1984)〕
- (4) YOUKI OSE : Ecotoxicology of Micro Organic Pollutants in Water
〔Arch. Pharmacol. Research (Korea), **4**, 141 (1981)〕
- (5) YOSHIKI KAWASHIMA : Spherical Crystallization and Pharmaceutical Systems
〔Pharmacy International, **5**, 40 (1984)〕
- (6) YOSHIKI KAWASHIMA : Development of Spherical Crystallization Technique and Its Application to Pharmaceutical Systems
〔Arch. Pharm. Res., **7**, 145 (1984)〕
- (7) YOSHIKI KAWASHIMA, HIROFUMI TAKEUCHI : Development and Application of Wet Spherical Agglomeration Process
〔J. Pharm. Soc. Korea **28**, 341 (1984)〕

- (8) 川島嘉明：噴霧乾燥（スプレードライ）法によるマイクロカプセル化技術
〔粉体と工業, 16, 30 (1984)〕
- (9) 川島嘉明, 笠井昭宏：キトサンの製剤への応用
〔製薬工場, 4, 245 (1984)〕
- (10) 川島嘉明, 竹内洋文：液中における粒子の凝集現象を利用した造粒法の開発とその製剤学的応用
〔表面, 22, 719 (1984)〕
- (11) 江田昭英：抗喘息薬
〔薬局, 35, 209 (1984)〕
- (12) 永井博式, 江田昭英, 大黒道夫：ケミカルメディエーターとその制御
〔アレルギーの臨床, 4, 947 (1984)〕
- (13) 江田昭英：IgE アレルギーの化学伝達物質遊離抑制薬
〔免疫薬理, 2, 215 (1984)〕
- (14) 永井博式：抗ロイコトリエン薬
〔免疫薬理, 2, 234 (1984)〕
- (15) 江田昭英, 稲垣直樹：特異的 IgE 抗体産生抑制薬
〔免疫薬理, 2, 559 (1984)〕
- (16) 江田昭英：オウゴン（黄芩）
〔治療学, 13, 700 (1984)〕
- (17) 太田光熙, 西谷裕, 林恭三：重症筋無力症とレセプター
〔ホルモンと臨床, 32, 605 (1984)〕
- (18) 太田光熙, 森史よ, 西谷裕, 林恭三：抗アセチルコリン受容体
〔日本臨床, 42, 1464 (1984)〕

著 書

- (1) 河合 聡（分担執筆）：生化学ハンドブック（丸善）（1984）
- (2) 河合 聡（分担執筆）：薬学ハンドブック（日本医歯薬研修協会）（1984）
- (3) 小瀬洋喜（分担執筆）：微生物学Ⅱ（南江堂）（1984）
- (4) 鍛冶健司（分担執筆）：薬品製造学（南江堂）（1984）
- (5) 川島嘉明, 平野和行（分担執筆）：最新化粧品科学（廣川書店）（1984）
- (6) 川島嘉明（分担執筆）：最新造粒技術の実際（神奈川経営開発センター）（1984）
- (7) 川島嘉明（分担執筆）：最新薬剤学実験書（廣川書店）（1984）
- (8) YOSHIAKI KAWASHIMA（分担執筆）：Powder Technology（Hemisphere Publishing Co.）（1984）
- (9) 半田哲郎（分担執筆）：脂質膜系の相平衡と相変化・膜学実験法（喜多見書房）（1984）
- (10) 江田昭英（分担執筆）：免疫学（南江堂）（1984）
- (11) 江田昭英, 松浦直資（分担執筆）：免疫薬理と免疫療法（朝倉書店）（1984）
- (12) 江田昭英（分担執筆）：新内科学大系（年刊版 '84-C）（中山書店）（1984）
- (13) 水野瑞夫, 田中俊弘（分担執筆）：新訂生薬学（南江堂）（1984）

- (14) 水野瑞瑞, 田中俊弘 (分担執筆): 飯沼愆斎 (飯沼愆斎生誕二百年記念事業会) (1984)
- (15) 林恭三, 古川昭栄 (分担執筆): 細胞成長因子 (朝倉書店) (1984)
- (16) 鈴木智夫 (分担執筆): 中国近現代史の諸問題—田中正美先生退官記念論集— (図書刊行会) (1984)
- (17) TOMOO SUZUKI (分担執筆): The 1911 Revolution in China—essays presented at International Conference in Commemoration of the Seventieth Anniversary of the 1911 Revolution Tokyo, October 21—23, 1981—(University of Tokyo Press) (1984)
- (18) 日野紹運 (共著): 仏教とインドの神 (世界聖典刊行協会) (1984)
- (19) 中神勝 (共同編集): 東海保健体育科学, 第6巻 (東海体育学会, 日本体育学会東海支部会) (1984)

そ の 他

- (1) 河合 聡: パネル「ポスターセッションの問題点を探ぐる」
〔ファルマシア, 20, 661 (1984)〕
- (2) 河合 聡: 分析実習における教育実践
〔社会薬学, 3, 63 (1984)〕
- (3) 小瀬洋喜ほか: 生態影響試験に関する調査研究
〔日本環境協会 (1984)〕
- (4) 小瀬洋喜ほか: 岐阜市金華山周辺地区観光リクリエーション整備計画
〔岐阜市 (1984)〕
- (5) 小瀬洋喜ほか: 陸水域の有機ハロゲン化合物の分析法に関する研究
〔昭和58年度環境庁委託研報告集, 9 (1984)〕
- (6) 平野和行: 分化と癌化におけるアルカリフォスファターゼアイソザイムの表現
〔日本医師会雑誌, 91, 2266 (1984)〕
- (7) 川島嘉明: パネル「共通一次試験が薬学教室にもたらしたもの」
〔ファルマシア, 20, 26 (1984)〕
- (8) 半田哲郎: ブックガイド「膜に関する本」
〔ファルマシア: 20, 340 (1984)〕
- (9) 江田昭英: 遅発型喘息反応についての基礎的検討
〔第1回免疫薬物療法研究会記録集 (1984)〕
- (10) 江田昭英: 生薬の抗アレルギー作用
〔日本病院薬剤師会雑誌, 20, 597 (1984)〕
- (11) 西依健, 土屋博司, 江田昭英: 柴朴湯のI型アレルギー反応に及ぼす影響
〔和漢医薬学会誌, 1, 118 (1984)〕
- (12) 江田昭英ほか: IgE アレルギーを語る (座談会)
〔免疫薬理, 2, 259 (1984)〕
- (13) 江田昭英ほか: 和漢生薬研究の進歩 (座談会)
〔治療学, 13, 259 (1984)〕

- (14) 田中俊弘：中国・南京薬学院留学の記
〔ファルマシア, **20**, 564 (1984)〕
- (15) 林 恭三：アセチルコリン受容体
〔医学のあゆみ, **130**, 519 (1984)〕
- (16) 林 恭三：破傷風毒素の部分ペプチド（フラグメントC）はボツリス毒の神経遮断作用と拮抗する。
〔医学のあゆみ, **131**, 435 (1984)〕
- (17) 林 恭三ほか：抗アセチルコリン受容体の Affinity Constant について
〔厚生省特定疾患“免疫性神経疾患に関する研究”報告書, 298 (1984)〕
- (18) 林 恭三ほか：ラット, サル, ヒト骨格筋のアセチルコリン受容体を抗原とした抗受容体抗体価の比較検討
〔厚生省免疫性神経疾患調査研究班“免疫性神経疾患に関する研究”報告書, 289 (1984)〕
- (19) 林 恭三：筋ジストロフィーマウスと神経成長因子
〔厚生省神経疾患“筋ジストロフィー症の疫学, 臨床および治療に関する研究”報告書, 16 (1984)〕
- (20) 林 恭三：アセチルコリン受容体の化学構造ならびにその抗体についての生理生化学的研究
〔文部省特定研究「代謝応答とその病態」総括報告書, 21 (1984)〕〔Report of Special Research Project, 21 (1984)〕
- (21) 林 恭三：ヘビ神経毒を用いる重症筋無力症の発症機構の解明
〔文部省特定研究“生物トキシンの医学生物学への応用”報告書, 30 (1984)〕
- (22) 林 恭三：コブラ科ヘビ心臓毒蛋白質と神経毒蛋白質の構造の比較と分子進化
〔文部省特定研究“分子レベルにおける進化機構”報告書, 48 (1984)〕
- (23) 鈴木智夫：草創期広東製糸業の経営特質—『循環日報』の「告白」より見る—
〔近きに在りて, 第6号 (1984)〕
- (24) SHOUN HINO: Sure'svara's Criticism of Bhartṛprāñca's View on Liberation, as the Result of Knowledge-and-action Combination [Aligarh J. Oriental Studies, 1(2), 137 (1984)]
- (25) 中神 勝, 天野義裕ほか：東海地区大学一般体育実技における体力づくりに関する研究（第Ⅴ報）
—体力を高める授業方法—
〔大学保健体育研究, **IV**, 1 (1984)〕
- (26) 西田弘之ほか：東海地区大学体育実技担当教師の授業に関する意識（第Ⅱ報）
—属性別にみた意識の特性について—
〔大学保健体育研究, **IV**, 63 (1984)〕
- (27) 西田弘之ほか：東海地区大学体育実技担当教師の授業に関する意識（第Ⅲ報）
—授業形態よりみた意識構造について—
〔大学保健体育研究, **IV**, 78 (1984)〕

編 集 委 員

鵜飼茂夫，鍛冶健司，鈴木智夫
河合 聡，木方 正，寺脇二郎

岐阜薬科大学紀要 第34号
(非売品)

印刷日 昭和60年8月1日

発行日 昭和60年8月1日

発行所 岐阜薬科大学

〒502 岐阜市三田洞東5丁目6-1

編 集 者 鵜 飼 茂 夫
発 行 者 岐阜市三田洞東5丁目6-1
岐阜薬科大学内

印 刷 日新印刷株式会社
岐阜市蔵前7丁目12番21号
